

関越自動車道
土樽橋恒久足場設計

特記仕様書

令和8年1月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

湯沢管理事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 関越自動車道 土樽橋恒久足場設計

1-1-2 路線名 関越自動車道 新潟線

1-1-3 履行箇所 自) 群馬県利根郡みなかみ町小仁田 (水上IC) (KP141.2)
至) 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 (湯沢IC) (KP167.1)

1-1-4 対象橋梁

橋梁名	橋梁形式	延長	内訳書の項目 末尾の名称
土樽橋 (上り線) P1～P4	鋼3径間連続鈑桁橋		A
土樽橋 (下り線) P2～P6	鋼3径間連続鈑桁橋		B

1-1-5 主な履行内容

内訳書の項目		数量	備考
恒久足場設計			
現地踏査		1式	
概略型式検討		1式	
詳細設計	A	1橋	
	B	1橋	
協議用図面作成		21枚	
設計打合せ		1式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から320日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間（まで）

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く

1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び5-2-3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
土樽橋完成図	—	契約締結後貸与	TIFF データ
3次元測量成果品	令和6年度 湯沢管内 鋼橋等調査補修検討業務	契約締結後貸与	土樽橋（上下線）および交差鉄道設備を含む

			む 3 次元点群データ
--	--	--	-------------

1－6 受注者相互の協力

共通仕様書 1－20「受注者相互の協力」の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
関越自動車道 阿能川橋 床版取替工事	2021 年 4 月 1 日～ 2030 年 2 月 12 日	鹿島建設株式会社・株式会社横河 ブリッジ 関越自動車道 阿能川橋床版取替工 事 特定建設工事共同企業体	東日本高速 道路㈱	隣接施行

1－7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

(1) 鉄道関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
土樽橋 上り線 P1～P4 下り線 P2～P6	J R 上越線	東日本旅客鉄道（株）	上空交差として 計画協議を実施	足場型式協議 2026 年 9 月 全体計画協議 2027 年 2 月

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

1－8 計画工程表

1－8－1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1－14－1「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式－2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1－7「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1－9－3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1－22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。また、共通仕様書 1－9－4に定める照査計画を盛り込むこととする。

なお、作業単位の設定は、下表を標準とするが、計画工程表の提出にあたって監督員と受注者との協議のうえ、決定するものとする。

設計種別	項目	備考
恒久足場設計 現地踏査	現地踏査	土樽橋（上下線）
恒久足場設計 概略型式検討	概略型式検討	土樽橋（上下線）
恒久足場設計 詳細設計A	設計計画	土樽橋（上り線）
	設計計算	
	既設桁耐力照査	
	設計図作成	
	数量計算	
	施工計画	
恒久足場設計 詳細設計B	設計計画	土樽橋（下り線）
	設計計算	
	既設桁耐力照査	
	設計図作成	
	数量計算	
	施工計画	
協議用図面作成		
設計打合せ		

1－8－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－9 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－10 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事に受注者が協議して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員及び受注者並びに予定工事の受

注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、本特記仕様書1-1-4に示す対象橋梁について、橋梁下面の点検、塗替塗装及び補修等を行う目的の管理用足場を設置するための東日本旅客鉄道株式会社との協議を踏まえた構造検討、施工計画、詳細設計、設計図書作成、数量算出及び概算工費の算出を行う業務である。

2-2 設計構造物の内容

本業務における、既設構造物の形式等の内容は下表のとおりである。

橋梁名	上下線区分	上部工		下部工	
		構造形式	径間長 (m)	下部工No.	高さ (m)
土樽橋	上り線	鋼3径間連続鈑桁	39.7	P 1	8.5
			52.0	P 2	7.9
			43.2	P 3	7.9
				P 4	11.4
	下り線	鋼3径間連続鈑桁	41.7	P 2	1.0
			56.4	P 3	2.0
			46.8	P 4	9.0
				P 6	16.0

2-3 恒久足場設計

2-3-1 現地踏査

現地踏査とは、当該設計に必要な現地条件、特に交差構造物、近接構造物等の基本的事項を把握するものとする。

2-3-2 概略型式検討

- (1) 恒久足場設計 概略型式検討とは、既存の設計図書、測量の結果並びに交差構造物や近接構造物による施工や設計の制約等を考慮のうえ検討し、管理用足場の基本的な構造型式を決定するのに必要な資料の作成を行うことをいう。
- (2) 恒久足場設計 概略型式検討には前述の目的を達成するため、概略構造計算、概略図作成

等、一式当たりの概略型式検討に必要なすべての費用を含むものとする。ただし、比較案は3案程度までとし、一般図の作成は行わないものとする。

2-3-3 詳細設計

詳細設計とは、概略型式検討に基づいて、細部の構造の設計など施工に必要なすべての設計をいい、設計図書の作成、施工計画の検討、数量の算出等を行うものとする。

詳細設計において実施する内容は下表のとおりとする。

項目	内容	摘要
恒久足場設計 詳細設計A	設計計画	土樽橋（上り線）P 1～P 4
	設計計算	
	既設桁耐力照査	
	設計図作成	
	数量算出	
	施工計画検討	
恒久足場設計 詳細設計B	設計計画	土樽橋（下り線）P 2～P 6
	設計計算	
	既設桁耐力照査	
	設計図作成	
	数量算出	
	施工計画検討	

2-3-4 類似構造物の取り扱いによる設計区分

共通仕様書 5-7-6 に規定する類似構造物の区分は次のとおりとする。

内訳書の項目	類似構造物の区分	数量	対象構造物
恒久足場設計 詳細設計A	A	1 橋	土樽橋（上り線）P 1～P 4
恒久足場設計 詳細設計B	A	1 橋	土樽橋（下り線）P 2～P 6

2-4 協議用図面作成

設計協議用図面作成とは、監督員が指示する恒久足場設置に関する東日本旅客鉄道株式会社の設計協議に必要な図面を作成することをいい、次に示すとおり行うものとする。

図面種類	枚数	作成難易度	備考
検討図面	21	普通	

また、発注者が行う協議により作成枚数に変更が生じた場合、受注者との協議を行い変更するものとする。

2-5 設計打合せ

設計打合せは下記のとおり行うものとする。

- (1) 業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- (2) 打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 湯沢管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- (3) 打合せ回数は、原則として4回（当初、中間、業務内容確認検査、完了検査）とする。なお、中間、業務内容確認検査及び完了検査以外の打ち合わせは原則WEB会議で行うものとし、これに要する費用は変更しないものとする。打合せの検測数量は、式とする。
- (4) 履行状況により打合せ回数が増減しても費用の変更は原則行わないものとする。ただし、打合せ方法の変更等により費用の変更が必要と監督員が認めた場合は、監督員と受注者との協議するものとする。

2-6 成果品

成果品は共通仕様書1-4-6「成果品」の規定によるものとし、その一覧は下表のとおりとする。

設計種別		成果品項目	出力時の縮尺 (分の 1)	出力用紙 の大きさ	尺度
恒久 足場 設計	概略型式検討	検討書	—	A4	
		概略図	—	A3	原寸
	詳細設計	構造一般図	125, 250, 500	A3	原寸
		詳細構造図	50, 75, 125	A3	原寸
		設計計算書	—	A4	
		材料計算書	—	A4	
		計画概要書	—	A4	
		施工計画書	—	A4	
協議用図面作成		協議用図面	—	A3	原寸

なお、提出部数については、共通仕様書1-4-6-5によらず、下表のとおりとする。

項目	監督員	NEXCO 総研	備考
報告書（電子データ）	1部	1部	

第3章 補足事項

3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書1-2-3「検査及び立会い」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるも

のとする。

3－2 補足事項

現在、管理用足場について関係機関と協議中であり、協議内容により資料及び設計内容について変更又は追加する場合がある。これらに要する費用は別途、監督員と受注者で協議を行い定めるものとする。

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名) 関越自動車道 土樽橋恒久足場設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

